

未破裂脳動脈瘤手術症例の解析からみた治療の妥当性と将来展望

■ 研究の対象

2001年1月1日～2019年12月31日に、当院脳卒中センター脳神経外科で未破裂脳動脈瘤と診断され治療を受けた方

■ 研究目的・方法

脳ドックなどで偶然動脈瘤が見つかった場合、これを治療すべきなのかどうか、どの医療機関に相談すべきか等で悩む患者さんが多くいらっしゃいます。脳動脈瘤を手術すべきか否かについての一応の基準はありますが、未だ迷うところもかなりあります。これらの疑問点に答えるために、ガイドラインに沿った内容に加え、当院の治療成績や合併症に関するデータを提示し、患者さんにとって有用な情報とすべく本研究を計画しました。

当院は本邦でも有数の動脈瘤診療を中心とする病院であり、この18年間の脳動脈瘤クリッピング術を主とした群を抜いた手術実績があります。これまでの治療症例をまとめて全世界へ発信することは、今後の脳動脈瘤診療のあり方を模索する上でも、極めて意義あることと考えます。

■ 研究実施期間

2020年4月23日～2022年3月31日

■ 研究に使用する情報

これまでの退院時の記録や電子カルテといった診療記録から患者背景、動脈瘤の形状、手術合併症、および認知機能と生活の質に関わるデータを使用します。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 脳神経外科 山城 重雄（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上